

有限会社ビューティフルライフ

高齢者、体の不自由な方の生きがいを生み出す理美容業

おもてなし経営のポイント

- ❖ 高齢化社会に必要な理美容サービスのスタンダードを確立
- ❖ 理美容から波及して、医療など他分野にも貢献する機材開発



経営理念と企業文化

有限会社ビューティフルライフは大分県で福祉理美容事業を行なう会社である。2000年に設立された。トラックを利用した移動理美容室の運営、医療や介護施設、福祉施設および在宅療養中の人に向けた理美容師の派遣訪問、これに関連した福祉機器の開発と販売が事業の柱だ。高齢者や身体の不自由な人、病院や福祉施設にいる人でも、おしゃれな髪形や美容師との会話が楽しめるようなサービスを提供し、そこから喜びや生きがいを感じてもらうことを目指している。

代表取締役の田中晃一氏は、訪問理美容にはおしゃれ感がなく、髪を切ることだけを目的とした旧態依然のサービスであることに問題意識を持った。そこで、顧客にとって安心、安全、快適なサービスを提供しようと決意した。またそれは、社員にとっても働きやすく、事故が起これにくい環境となり得る。どちらも両立できるのではないかと考えた。

ハード面では、理美容車いす、移動シャ

ンプー台などを開発。これにより、身体が不自由でも負担なく快適に理美容サービスを受けることが可能になり、転倒などの事故も起こりにくくなった。この製品に利用されている技術は、歯科や看護などの医療現場にも応用されている。

ソフト面においても、ビューティフルライフが福祉理美容業界に果たした貢献は大きい。まず、身体の不自由な人向けの施術、サービス、介助のスタンダードを確立した。また、ヒヤリ、ハット、クレームの収集によるリスク管理体制をつくり上げた。これらの蓄積した情報をもとに危険予知訓練を行なうことで、業務改善が進み、医療機関と同等レベルでの感染予防対策マニュアルも制定できた。

社会全体が高齢化し、高齢者がマーケティングの中心対象者となるであろうこれからの時代には、理美容業にも多様な価値を提供する必要性が生じる。そのときに前提となるのは、第一に安全なサービスを提供することだ。その土台づくりを担ったビューティフルライフ。今後は、ワンストップサービスを念頭に、理美容

に限らずあらゆる福祉に携わりたいとしている。そして、高齢者のさまざまなニーズに対応し、一人ひとりのクオリティー・オブ・ライフの向上に寄与していく。

講演者紹介



有限会社
ビューティフルライフ
取締役社長

田中 晃一氏

1959年生まれ。大分商業高校卒業後、大分市内の理美容室に入社。6年目に県のコンクールで優勝、九州大会で準優勝、全国大会に2度出場。88年、27歳で理容室&美容室を立ち上げる。99年全国の福祉理美容のリサーチを開始し、(有)ビューティフルライフ創業・訪問理美容を事業化する。02年理容・美容と福祉のコラボレーションサロンを大分県中小企業経営革新計画の承認をうけオープン。05年九州経済産業局より「移動・訪問・店舗による、安全・安心・快適な訪問理美容の提供」をテーマに新連携の認定を受け、訪問理美容の専用機器や安全教育マニュアル等の研究・開発を開始する。12年、研究開発製品である多機能車いす・移動シャンプー台等を理美容や医療・介護業界へ向けて全国販売を開始し、現在に至る。

会社概要

・法人名：有限会社ビューティフルライフ

・代表者：田中 晃一 取締役社長

・所在地：大分県大分市椎迫4-2

・設立年月：2000年5月設立

・ホームページ：<http://www.be-life.info/>

・事業内容：

理容・美容業（サロン事業部・福祉事業部）、

研究開発・企画販売

・社員数：20名